

夫婦げんかが子どもに与える影響 11

—子どもの視点から見た夫婦げんかの影響—

○水野智美¹・徳田克己¹・西館有沙²

(¹筑波大学大学院人間総合科学研究科・²富山大学人間発達科学部)

キーワード: 夫婦 けんか 子ども

Psychological impact on children's marital quarrel 11

—From the viewpoint of children—

Tomomi MIZUNO¹, Katsumi TOKUDA¹ and Arisa Nishidate²

(¹Graduate School of Tsukuba Univ., ² University of Toyama)

Key words: parents quarrel child

目 的

これまでの夫婦げんか研究の結果から、夫婦げんかが幼児に対して大きな心理的負荷を与えていること、親は夫婦げんかをする事について子どもにさまざまな配慮をしていること、12年前に比べて夫婦げんかの方法やけんかの考え方が変化していることなどが確認できている(徳田ら, 2011)。本稿では、子どもの視点から親の夫婦げんかがどのようにとらえられていたかについて、大学生の回想と調査時点での考え方を調査し、親の夫婦げんかが子どもの夫婦観やけんか観にどのように影響しているのかを明らかにしたいと考えた。

方 法

1.対象者

東京都内2校、神奈川県内1校、茨城県内1校、大阪府内1校の大学に通う学生461名。

2.調査手続き

対象者の通う大学の授業担当者に依頼し、授業終了後に質問紙を配布してもらい、留置法によって回収した。無記名。調査期間は2010年10～12月。

結 果

1.親の夫婦げんかを見た経験

幼児～小学生の頃に親の夫婦げんかをどの程度見たかを尋ねたところ、「よく見た」18%、「時々見た」35%、「ほとんど見たことがない」28%、「全く見たことがない」18%であった。

2.親の夫婦げんかの方法(表1)

「大声を出す」「親が泣く」「相手と話さない」けんかをしている場面を見た者が多かった。「大声を出す」「相手と話さない」については、両親ともにしていたが、「泣く」「家出をする」「けんかの原因を子どもに説明する」「相手の悪口を子どもに言う」「離婚、別れるという言葉をおくする」のは母親が多かった。

3.けんかに後ろめたさを感じていたか

親は子どもの前でけんかをする事に後ろめたさを感じていたかは、「非常に」9%、「やや」18%、「どちらとも」30%、「あまり」11%、「全く」9%、その他23%であった。親の夫婦げんかを「よく見た」者のうち、後ろめたさを「全く感じていなかった」と答えた者は20%、「時々見た」8%、「ほとんど見たことがない」10%であり、子どもの前で頻繁にけんかをしている親ほど後ろめたさを感じていないように子どもに映っていた。

4.けんかの際の自分の行動

「けんかをしている場所から離れた」と答えた者が最も多く(40%)、「いつもと変わらず行動した」(28%)「きょうだいと一緒にいるようにした」(28%)「気にしていないふりをした」(28%)が次いだ。

5.夫婦げんかの影響

「けんかが始まると親に気を使うようになった」者が最も多かった(23%)。「乱暴になった」(9%)「泣くようになった」(7%)「けんかが始まると身体に変化が生じた(ぜんそく発作、アトピーの悪化など)」(3%)など、親の夫婦げんかによって自分に悪影響があったと自覚していた者は少なかった。

6.将来、子どもができた時の夫婦げんかの配慮の内容

将来、子どもができた時に「子どもには夫婦げんかを見せない」ように配慮すると答えた者は74%であった。また、「子どもの前では乱暴なことをしない」(68%)、「子どもの前では大声を出さない」(54%)、「短時間で終わらせる」(47%)、「子どもの前では泣かない」(43%)といった配慮をして、子どもに負担をかけないようにしたいと考えている者が多かった。また、「相手に手をあげたり物を投げつける」夫婦げんかを見た者の方が見ていない者に比べて「子どもの前では乱暴なことをしない」と答える割合が高かった(前者:80%、後者67%; $\chi^2(1) = 4.01, p < 0.05$)。

7.夫婦げんかに関する考え方

夫婦げんかの考え方について、徳田ら(2011)が幼児を持つ親に行った同項目の調査結果と比較した。学生は、親に比べて「子どもの前では夫婦げんかをすべきではない」と考える者が多いことが確認できた。このように考える者と親の夫婦げんかを見た頻度、夫婦げんかの方法、夫婦げんかに親が後ろめたさを感じていたかどうかとは、関係がなかった。

表1.けんかの方法

	全体	父親	母親	両方
大声を出す	58%	29%	16%	55%
親が泣く	36%	1%	95%	4%
相手と話さない	36%	13%	29%	58%
相手の悪口を子どもに言う	31%	9%	60%	31%
離婚、別れるという言葉をおくする	25%	16%	54%	30%
家出をする	22%	18%	78%	4%
子どもに八つ当たりをする	21%	27%	48%	25%
けんかの原因を子どもに説明する	20%	7%	71%	22%
相手に手をあげたり物を投げつける	13%	68%	12%	20%

(全体の%の母数は461名、父親、母親、両方の%の母数は同行の1列目のけんかを親がしていたと答えた者)

表2.夫婦げんかについての考え方

	学生	親	χ^2 値
夫婦げんかの目的は、双方の考え方を理解し合うことである	68%	62%	8.1**
子どもの前では夫婦げんかをすべきではない	67%	45%	65.6**
夫婦げんかをするのは仕方ないが仲直りを子どもに見せるべきである	63%	65%	0.5
けんかはその社会でも起こるものであるので子どもの前ですることは構わない	8%	10%	1.5
夫婦げんかで、自分が悪くないと思ったら謝るべきではない	7%	5%	3.4*
良い夫婦げんかをモデルとして子どもに示してけんかのやり方を教えるべきである	4%	6%	4.1*

** : $p < 0.01$ * : $p < 0.05$